

進路だより

鶴見養護学校
地域連携グループ進路係
No.9
令和2年3月2日発行

今号では、高等部1年生の校内実習、企業見学・福祉事業所見学、わくわく work dayの様子についてお知らせします。

高等部1年校内実習

高等部1年生は、2月12日(水)～21日(金)の8日間、校内実習を行いました。赤・白・青の3つの工場に分かれ、仕事に取り組みました。赤は受注した衣服のクリーニング、白はボルトのネジ閉め、箱折りなどの受注作業、青はペットボトルのリサイクルを行いました。

初めての实習で緊張や戸惑う様子も見られましたが、日を追うごとに自分の役割を確認し、効率や精度を上げて仕事を進められるようになってきました。短い期間ではありましたが、大きな成長を感じる事ができ、貴重な経験を得ることができました。



企業見学・福祉事業所見学

【株式会社富士電機フロンティアの見学会】

2月6日(木)に高等部1・2年生保護者見学会が行われました。前半はスライドを使った概要説明と仕事場の見学でした。仕事場の見学では、作業内容の詳しい説明とホークリフトの実演がありました。ホークリフト運転時の注意点なども詳しく教えてくれました。後半は少人数のグループに分かれてディスカッション形式で就労する上で必要な事や就労に関する質問などを担当者の方と話しました。最後には本校の卒業生2名に質問をする時間があり、休日の過ごし方や就労して良かった点などを答えた後、最後に「学生時代に行っていて今につながっていることは何ですか？」との問いかけに対して挨拶やコミュニケーション、そして2名とも共通したのが、「体力づくり」でした。力仕事为主なので体力をつけることはとても重要なようです。中にはお給料でジムに通っている方もいるようです。学校生活においては体力づくりを始め様々なことを学んでほしいと思っています。



【福祉事業所見学】

現在、高等部1年生保護者対象の福祉事業所の見学を行っています。ある事業所では、お客さんが来るのが楽しみでスリッパをたくさん並べてくれたり、いつもイベント等で披露している一発芸を見せてくれたりする利用者の方もいました。見学をする上で共通して話題になるのは、作業ができることよりも、挨拶や報告、相談ができること、生活リズムや健康管理が大切と言われます。また、防災訓練の一環として、日頃使っている公共交通機関が利用できない場合でも通勤ができるようにいくつかの通勤方法を練習している方もいました。福祉事業所もたくさんあるのでお時間がある時に複数の事業所の見学を是非お願いします。



わくわく work day 開催！

1月25日（土）、「わくわく work day」が開催されました。これは、高等部・分教室の作業製品販売や事業所等に来校していただいたの販売、進路研修会等を通じて、大人も子どもも、進路（はたらくということ）について、身近に、そして前向きに感じてほしい、という主旨で実施しています。

一年間コツコツと取り組んできた作業は、高等部の進路学習の中でも特に大切な授業です。一回の授業時間も長く、生徒たちも一生懸命授業に取り組んでいます。わくわく work dayでの販売会は、それまで地道に取り組んできたものを大舞台で発揮するという、達成感をたっぷり感じられる機会となりました。長い時間一生懸命働く理由や、働く喜び、売り手と買い手の両方になることで物流の仕組みを知ること、お客さんとのコミュニケーションスキルや気持ちの醸成など、販売に臨んだ生徒たちは実にたくさんのことを体感したと思います。

事業所等の販売で私たちが目にするのは、卒業したばかりの先輩たちが、「働くってこういうことですよ」と言わんばかりに堂々と販売に臨む姿です。身近だった先輩たちの立派な姿を見て、在学中の生徒たちもびっくりしたようでした。また、本校小中学部の児童生徒や、地域の中学校からもたくさんの方がお見えになり、高等部や分教室の生徒の頑張りを見て、「あんな風に立派に働きたい」と言っていました。「先輩みたいになりたい」という気持ちがモチベーションとなることでしょう。



そんな子どもたちのキラキラした様子を目の当たりにした後、午後には保護者対象の進路研修会が行われました。講師は、新横浜にある特例子会社 日総びゅあ株の 淡路 博巳 氏、テーマは「わくわく work のために」で、淡路様のお話も、「進路とは働くこと、進路とは将来の夢、だから働くことは将来の夢。無理とかできないではなく、どうやったらできるかを考えていかないと。」というところからスタートしました。「可哀そうだから何もさせない、これが一番可哀そう」「学校でやれるところと、家でしかできないこと・今しかできないことがある。今から家でその人なりの頑張りを見せていくことがとても大切。」と、会社の取り組みや様子を交えながら、厳しく、そして温かくお話をいただきました。

大人も子どもたちも、「はたらく」ことを身近に感じられた素晴らしい一日となりました。

